



## 報道関係の方のお問い合わせ

- ◆ 発売日や価格は、12月25日時点のものです。各書籍のURLは、準備中の場合があります。
- ◆ 掲載書籍の表紙デザインは変わることがあります。
- ◆ 書評用の見本・装丁画像データのご依頼は、書名・御社名・媒体名・担当様名・ご住所・ご連絡先電話番号を明記の上、マーケティング戦略室までメールまたはFAXをお送りください。
- ◆ 取材のお申し込みは、取材希望内容・御社名・媒体名・担当者様名・ご連絡先電話番号を明記の上、マーケティング戦略室までメールまたはFAXをお送りください。取材内容により、担当者からご連絡申し上げます。

発行 小学館 マーケティング局 マーケティング戦略室

〒101-8001 東京都千代田区一ツ橋 2-3-1

☎ 03-3230-5355 FAX:03-3263-1900

mail:ad5347@shogakukan.co.jp

URL <https://www.shogakukan.co.jp> (小学館ホームページ)

<http://www.s-book.net> (書店様専用ホームページ)

著者・編集者出演のプロモーション動画、続々公開中！

笹餅で人を幸せにする、津軽の現役90歳

**おかげさまで、注文の多い笹餅屋です**  
 ちゅうもん おおむら ちゅうもん や  
 笹採りも製粉もこしあんも  
 年5万個をひとりで作る90歳の人生  
 桑田ミサオ・著



パワフルなおばあちゃん産出県の青森から、また注目のおばあちゃんが！  
 太宰治の生地として知られる、津軽半島の金木町に住む、90歳の笹餅名人です。60歳で作り始めた笹餅が評判になり、75歳で「笹餅屋」を起業しました。ストーブ列車で有名な津軽鉄道で販売する姿は、何度もメディアに登場。全国から注文が届くのです。1年分の笹を自分で採り、地元の材料で作り、儲けなくたっていいからと安価で販売。笹餅だけで、1年間に5万個以上を作ります。

ミサオさんの生活哲学・創意工夫・こだわりが、青森の郷土菓子・笹餅作りに凝縮されているのです。この本は、パワーと明るさで人を癒やすミサオさんの魅力を、津軽の風土の写真とともに紹介。工夫の証、「笹餅」「こしあん」「赤飯」「おはぎ」のレシピも掲載しています。

1月19日発売  
 定価：本体1,400円＋税  
 四六判／160ページ  
 ISBN978-4-09-388598-0

◆桑田ミサオ(くわた・みさお)

1927年生まれ。笹餅を通じた地域貢献、ボランティア活動で、2010年度農林水産大臣賞、'14年度ふるさとづくり大賞総務大臣賞受賞。

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388598>

最強ヘア降臨！街を歩けば、世界が見える。

**ダーリンの東京散歩**  
 歩く世界  
 小栗左多里／トニー・ラズロ・著



「ダーリンは外国人」の最強ヘアが、類を見ない知的な散策に挑む！「2020年東京五輪」を前に、大規模な再開発が続く東京。急激に変わるこの街を、世界を知り尽くしたトニー＆さおり夫妻が緊急闊歩！ ●浅草の雷門にいるドラゴンは何の西洋式？ ●西洋式？ ●世界一濃い抹茶ジェラートの行列の秘密は「ア」！ ●江戸風鈴の底はなぜギザギザ？ ●メニューは牛鍋のみの老舗店の実家感： ●そろばんが普及した秘密は「ハッパロクジューシ」？ ●三越のライオンのルーツはハンガリー？ ●「水ぬるむ」はどんな菓子？ ●江戸の「金座」はどこにある？ ●銀座の迷宮で発見した巨大な： ●ガイド下のブタは幸運のシンボル？ ●新橋でインシユタインに遭遇！ ●築地のしがらみは埋め立てが原因？ ……etc. 東京を歩きながら世界を描く「歩く世界」の開幕です！

1月24日発売  
 定価：本体1,000円＋税  
 A5判／144ページ  
 ISBN978-4-09-346092-7

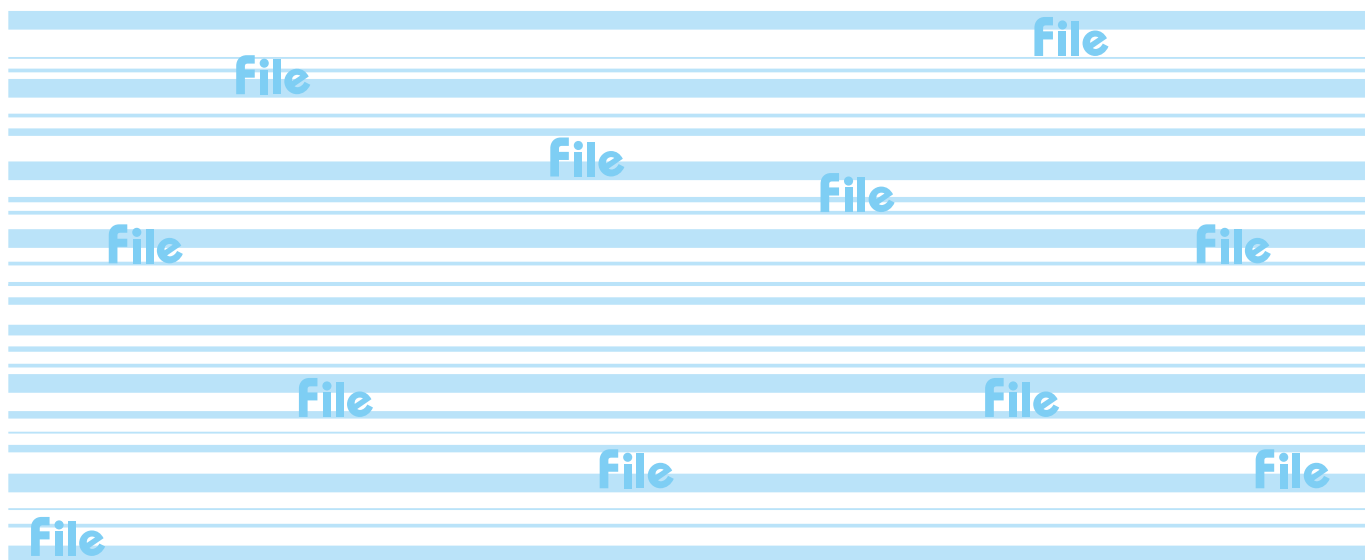
◆小栗左多里(おぐり・さおり)

家族の日常を描く「ダーリンは外国人」シリーズは累計300万部を超え、映画・ドキュメンタリー化もされた。2012年、息子の小学校入学を機にベルリン移住。

◆トニー・ラズロ

自他ともに認める「語学オタク」で、多言語を解する。英語と日本語での執筆活動の傍ら、多文化共生を研究するNGO「一緒企画(ISSHO)」を運営。

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09346092>





1月25日発売  
定価：本体1,700円＋税  
四六判／320ページ  
ISBN978-4-09-388594-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388594>

徳川宗英・著  
江戸時代の平均寿命は三十代〜四十代と言われるなか、人一倍健康に留意し七十五歳という長寿をまっとうした元祖健康オタク・徳川家康の「健康三か条」とは？ 運動に万全の注意をはらったうえに強精剤を愛用して五十七人の子をもうけた「オットセイ將軍」家畜肉を好み、晩年は多趣味に生きて、十五人の將軍のなかで最長の七十七歳まで生きた「肉食將軍」慶喜。サプリメントもスポーツジムもなかった江戸時代に、彼らは心身の健康を保つためにどんな養生法を実践していたのか。子孫だからこそ知る、これまで知られていなかった歴代將軍の健康にまつわるエピソードが次々と明かされる。思わず人にしゃべりたくなくなる蘊蓄が満載の歴史エッセイ。

◆徳川宗英(とくがわ・むねふさ)

作家。田安徳川家・第十一代当主。1929年、英国ロンドン生まれ。慶應義塾大学工学部卒業。石川島播磨重工業関西支社長、石川島タンク建設副社長などを歴任。退職後は全国東照宮連合会顧問などを務める。著書に『徳川家に伝わる徳川四百年の内緒話』『徳川家が見た幕末の怪』『徳川家が見た西郷隆盛の真実』など多数。

田安徳川家当主が明かす將軍たちの健康秘話  
徳川家に伝わる  
徳川四百年の裏養生訓



1月25日発売  
定価：本体1,500円＋税  
A5判／146ページ  
ISBN978-4-09-388600-0

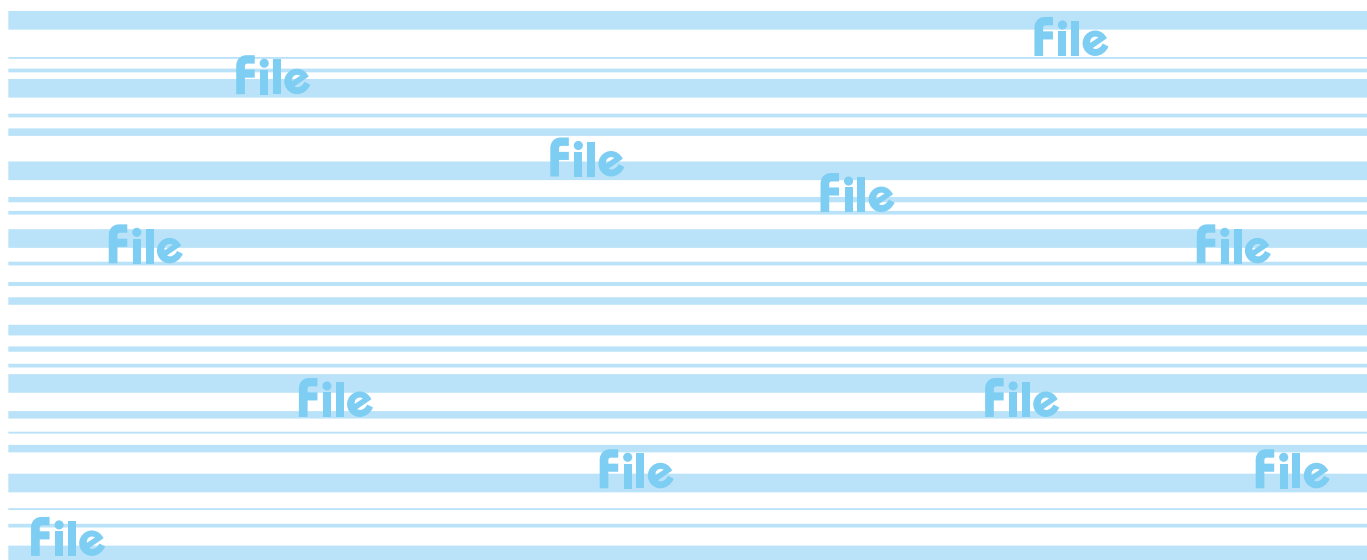
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388600>

著者・三尋木奈保さんの洋服選びの基準はシンプルでベーシック、かつ上品なところ。スタイリスト本やモデル本にはないリアルさで「そのまま電車にのって仕事にいける」大人のベーシックスタイルは、特に働く女性から熱く支持されています。そこに「40代の女性として年相応にきちんと見えて、どんなシーンでも居心地よくいられる、気後れしない着こなし」という視点を加えたのが本書。体型や似合う服も変化するアラフォー世代の日々を試行錯誤を重ねながら過ごしてきたどりついた、三尋木さんならではの新しいおしゃれのルールが余すことなく紹介されています。

◆三尋木奈保(みひろぎ・なほ)

働く女性に支持されている雑誌「Oggi」のファッションエディター。大学卒業後の数年間、一般企業に勤務したのち、この仕事に。会社員経験を活かした「リアルで地に足のついた」おしゃれセンスは雑誌の誌面でも大人気。2013年に出した第一弾本「My Basic Note」は12万部のベストセラーに。

エディター発「きちんと、きれい」な大人服  
Oggiエディター三尋木奈保  
My Basic Note 2  
きちんと見える大人の服の選び方  
三尋木奈保・著



「P+D BOOKS」今月のラインナップ

## 死刑囚 永山則夫 佐木隆三・著

1968年10月11日、東京プリンスホテルでガードマンが頭部を撃ち抜かれた。日本中を震撼させた連続射殺魔・永山則夫の、人間の内面と事件の全貌を鮮烈に描いたノンフィクション・ノベル。

定価 本体650円＋税 B6判／528ページ  
 ISBN978-4-09-352325-7  
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352325>

## 舌出し天使・遁走 安岡章太郎・著

第二次大戦に人生を翻弄された、日本版「失われた世代」ともいえるべき、ある男の混沌とした青春記「舌出し天使」は破滅へとひた走る若者を描いた作品。他方、「遁走」は著者自身の軍隊体験を描いた初の長編小説。

定価 本体600円＋税 B6判／352ページ  
 ISBN978-4-09-352326-4  
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352326>

## 単純な生活 阿部昭・著

母の死や息子の受験など複雑な現実振りまわされながらも、もともと単純に生きられたらと心ひそかに願う中年の男。「単純」とはたして何か……。期間にして2年半の日々を、淡々と綴った阿部昭の自伝的作品。

定価 本体650円＋税 B6判／402ページ  
 ISBN978-4-09-352327-1  
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352327>

1月12日発売・配信（ペーパーバックとデジタルで同時、同価格）  
<http://pdbooks.jp>

file

File

File

file

file

小学館文庫

## 柳家小三治の落語8 柳家小三治・著

DVD BOOK『落語研究会 柳家小三治大全 下』に収録された20席を音源とし、その口演を三巻に分けて刊行。『柳家小三治全集』からの既刊7巻は、増刷を重ねる巻もある人気シリーズです。行間に繊細なニュアンスも読み取られて、読み進むうちに登場人物の魅力、情景などが目の前に現れるよう。

落語界を牽引する現役最高峰の語芸は読んでも可笑しく、しかも深い味わいがあります。練りに練られた至芸を、まるで高座がそこにあるような臨場感で文字に再現した、読む落語です。収録録演目は、「山崎屋」「宿屋の仇討」「鰻の村問」「長屋の花見」「蒟蒻問答」「野ざらし」。演目解説・京須備充。わかりやすい用語解説付。

◆柳家小三治やなぎやこさんじ  
 1900年、東京生まれ。59年、五代目柳家小三治入門。69年に十代目小三治を襲名、真打に昇進。出陣子は「上がりかっこ」。2005年に紫綬褒章を受章、14年より重要無形文化財保持者（人間国宝）。

1月4日発売  
 定価：本体540円＋税  
 文庫／240ページ  
 ISBN978-4-09-406455-1



<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406455>

小学館文庫

## モナリザ・ウイルス 上・下 Das MONA-LISA-VIRUS テイボール・ローデ・著／酒寄進一・訳

『ダ・ヴィンチ・コード』に連なるドイツの傑作ミステリー、日本初登場！メキシコの高級リゾートに向かっていた全米のビューティー・クイーンが一斉に消息を絶った。ブラジルや中国ではミツバチの大量死が始まった。ワルシャワではアンチウイルス・ソフトの開発で巨万の富を得た人物が失踪し、なぜかボストンの神経美学者ヘレンの元に、その子息から電話がかかる。同じ頃、世界中のデジタル・デバイスに侵入し特定の画像を改変するコンピュータ・ウイルスが発見され、「モナリザ・ウイルス」と命名された。ルネサンス期に固く封印された双子の「モナリザ」の秘密が、これらの事件全てに関わっているのだが…。

◆テイボール・ローデ  
 1974年、ドイツ・ハンブルグ生まれ。弁護士のかたわら大学で教鞭もとる。本書は小説3作目。

◆酒寄進一（さかよりしんいち）  
 1958年生まれ。ドイツ文学者。「犯罪」のフェルディナント・フォーン・シーラーハの訳者として著名。

1月4日発売  
 定価：本体750円＋税(上)  
 定価：本体790円＋税(下)  
 文庫／320ページ(上)、344ページ(下)  
 ISBN978-4-09-406459-9(上)  
 ISBN978-4-09-406460-5(下)



<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406459> <https://www.shogakukan.co.jp/books/09406460>

小学館文庫

## 提灯奉行

和久田正明・著

十一代将軍家斉の正室寔子の行列が愛宕下に差しかけた時、異変は起きた。白刃を振りかざして、襲いかかる三人の刺客。狼狽する警護陣。その刹那、一人の武士が馳せ参じるや、抜く手も見せず、三人を切り伏せた。武士の名は白野弁蔵、表御殿の灯火全般を差配する提灯奉行にして、御目付神保中務から陰扶持を頂戴する直心影流の達人だった。この日から、徳川家八百万石の御台所と八十俵取り、御目見得以下の初老の武士の秘めたる恋が始まる。それはまた、戦国の世に端を発する闇の一族から想い人を守らんとする弁蔵の死闘の幕開けでもあった。



◆和久田正明(わくだまさあき)  
1945年、静岡県生まれ。テレビ時代劇の脚本を多数手がけた後、現在では時代小説の執筆に専念している。主なシリーズに、「はぐれ十左衛門 殺剣」、「髪結の亭主」(ハルキ文庫)、「闇魔帳」などがある。

1月4日発売  
定価: [本体610円] + 税  
文庫 / 304ページ  
ISBN978-4-09-406462-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406462>

小学館文庫

## 運命のひと

山本甲士・著

文具会社の重役となった岩瀬修は、昔夢中になった任侠映画を思い出すと、当時の忘れ得ぬ人たちの記憶に繋がっていく。高倉健のファンとなった修は、映画を観たいがために家業の立ち飲みコーナーを手伝うようになり、ヤクザと煙たがられている中間のおっちゃん仲間と仲良くなる。さらに、県立病院に入院してきた従姉妹の弥生が学校に通えないために、プリントなどを届けに行くようになった。二人との出来事を通じて人生の喜びと悲しみを知った修は、あの頃があつて今の自分がいることを感じるのだった。しみじみとした感動が心に広がる長編小説。



◆山本甲士(やまもとこうし)  
1963年生まれ。主な著書に、平凡な人が騒動に巻き込まれるところ「かび」と「つめ」、リストラからの復活「ひなた弁当」、ロングセラー「ひかりの魔女」など多数。

1月4日発売  
定価: [本体670円] + 税  
文庫 / 384ページ  
ISBN978-4-09-406481-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406481>

小学館文庫

## 鳩の撃退法 上・下

佐藤正午・著

かつて直木賞も受賞した作家・津田伸一は、とある地方都市で送迎ドライバーをして糊口をしのいでいた。以前から親しくしていた古書店の老人の訃報が届き、形見の鞆を受け取ったところ、中には数冊の絵本と古本のピーターパン、それに三千枚を超える一万円札が詰め込まれていた。ところが、行きつけの理髪店で使った最初の一枚が偽札であったことが判明。勤務先の社長によれば、偽札の出所を追っているのは警察ばかりでなく、一年前の雪の夜に家族三人が失踪した事件をはじめ、街で起きる騒ぎに必ず関わる裏社会の「あのひと」も目を光らせているという。直木賞を呼び込んだ大傑作!



◆佐藤正午(さとうしょうご)  
1955年、長崎県生まれ。83年、永遠の1/2(小学館文庫所収)で第七回すばる文学賞を受賞。2015年、鳩の撃退法で第六回山田風太郎賞を受賞。「Y」ジャンプ「身の上話」など著書多数。

1月4日発売  
定価: (各) [本体790円] + 税  
文庫 / 552ページ(上)、560ページ(下)  
ISBN978-4-09-406486-5(上)  
ISBN978-4-09-406487-2(下)

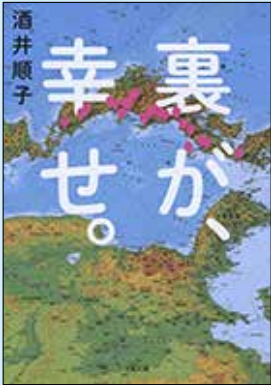
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406486> <https://www.shogakukan.co.jp/books/09406487>

小学館文庫

## 裏が、幸せ。

酒井順子・著

「日本海側が『裏日本』なのだとして、そこがほの暗い『裏』であるからこそ、繊細な光が美しく輝くのではあるまいか(本文より)。派手で明るいことがよしとされてきた、これまでの太平洋側中心の価値観に、見事に風穴を開け、大反響を得たエッセイ。「民藝」「演歌」「美人」「仏教」「文学」「田中角栄」「鉄道」などのユニークな切り口で、東京の中心で静かに時代を見つめてきた著者だからこそ描ける、痛快な日本人文化論。「控えめだけれど、豊かで強靱な」裏日本の魅力から、現代に生きる人々の幸せを探ります。解説は福井県出身の作家・宮下奈都。



◆酒井順子(さかいじゆんこ)  
1966年、東京都生まれ。エッセイスト。広告代理店勤務を経て執筆業に専念。「負け犬の遠吠え」(子)の無い人生「来ちゃった」(男尊女子)「源氏姉妹」など著書多数。

1月4日発売  
定価: [本体600円] + 税  
文庫 / 288ページ  
ISBN978-4-09-406488-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406488>